

av-UCP遺伝子変異ニワトリにおける 体温調節および生産性に関する研究

Studies on Thermoregulation and Growth Performance
in Chicks with av-UCP mutation



統合生命科学研究科 生物資源科学プログラム
家畜管理学的研究室

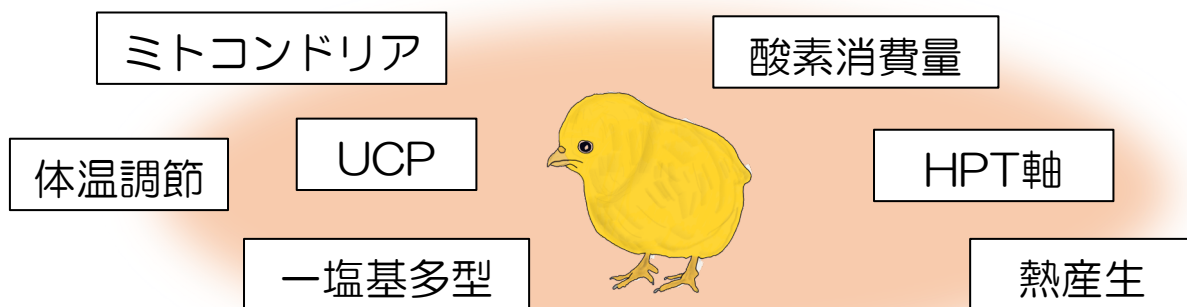
大内 義光



家禽は汗腺を保有しないことから暑熱による影響を受けやすい動物であり、暑熱ストレスによる生産性の低下が問題となっている。その問題解決のひとつとして、体温調節に関連した遺伝子変異の調査～耐暑性を保有したニワトリの作出が考えられる。

脱共役タンパク質（UCP）は、ミトコンドリア内膜に存在し、酸化リン酸化を脱共役することから、体熱産生やエネルギー代謝に関与している。ニワトリにおいてはav-UCPが骨格筋等に存在し、熱産生に関与する。また、av-UCP遺伝子にはアミノ酸置換を有する一塩基多型が存在し、増体成績等の生産性に影響を与えることが報告されている。しかし、本遺伝子変異がニワトリの体温調節能力に与える影響については不明である。

本研究では、av-UCP遺伝子一塩基多型がニワトリの体温調節および生産性に与える影響について調査を行った。



本セミナーは、統合生命科学研究科セミナーとしてプログラム共同セミナーの対象です。

開催日時：令和4年1月27日（木）13:00-14:00

Zoomによるwebセミナー
ミーティングID:567 656 2866
パスコード:1HH4bb

問い合わせ先
豊後 貴嗣(7957)
bungo@hiroshima-u.ac.jp